

オペレーションマニュアル

# ICONICA Sketch



Steinberg マニュアル制作チーム: Cristina Bachmann, Martina Becker, Heiko Bischoff, Lillie Harris, Christina Kaboth, Dennis Martinez, Insa Mingers, Matthias Obrecht, Sabine Pfeifer

Tobias Escher

翻訳: Ability InterBusiness Solutions (AIBS), Moon Chen, J r mie Dal Santo, Rosa Freitag, GiEmme Solutions, Josep Llodra Grimalt, Vadim Kupriianov, Roland M nchow, Boris Rogowski, Sergey Tamarovsky

このマニュアルは、目の不自由な方や視力の弱い方へのアクセシビリティに配慮しています。このマニュアルは複雑かつ多くの図が使用されているため、図の説明は省略されていることをご了承ください。

本書の記載事項は、Steinberg Media Technologies GmbH 社によって予告なしに変更されることがあり、同社は記載内容に対する責任を負いません。本書に掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。本書で取扱われているソフトウェアは、ライセンス契約に基づいて供与されるもので、ソフトウェアの複製は、ライセンス契約の範囲内でのみ許可されます(バックアップコピー)。Steinberg Media Technologies GmbH 社の書面による承諾がない限り、目的や形式の如何にかかわらず、本書のいかなる部分も記録、複製、翻訳することは禁じられています。本製品のライセンス所有者は、個人利用目的に限り、本書を1部複製することができます。

本書に記載されている製品名および会社名は、すべて各社の商標、および登録商標です。詳しくは、[www.steinberg.net/trademarks](http://www.steinberg.net/trademarks) をご覧ください。

  Steinberg Media Technologies GmbH, 2023.

All rights reserved.

Iconica Sketch\_1.0.0\_ja-JP\_2023-11

# 目次

4	<b>Iconica Sketch</b>
4	ウィンドウについて
5	パラメーター

# Iconica Sketch

Iconica Sketch は、非常に直感的なインターフェースに 34 種類のインストゥルメントを備えた完全なオーケストラを提供します。最も重要な 140 種類のショートアーティキュレーションとロングアーティキュレーション (レガートを含む) が収録されており、これらはすべて、伝説的なベルリンフンクハウスの一室で、演奏家がオーケストラの正しい配置で演奏したものを録音しています。

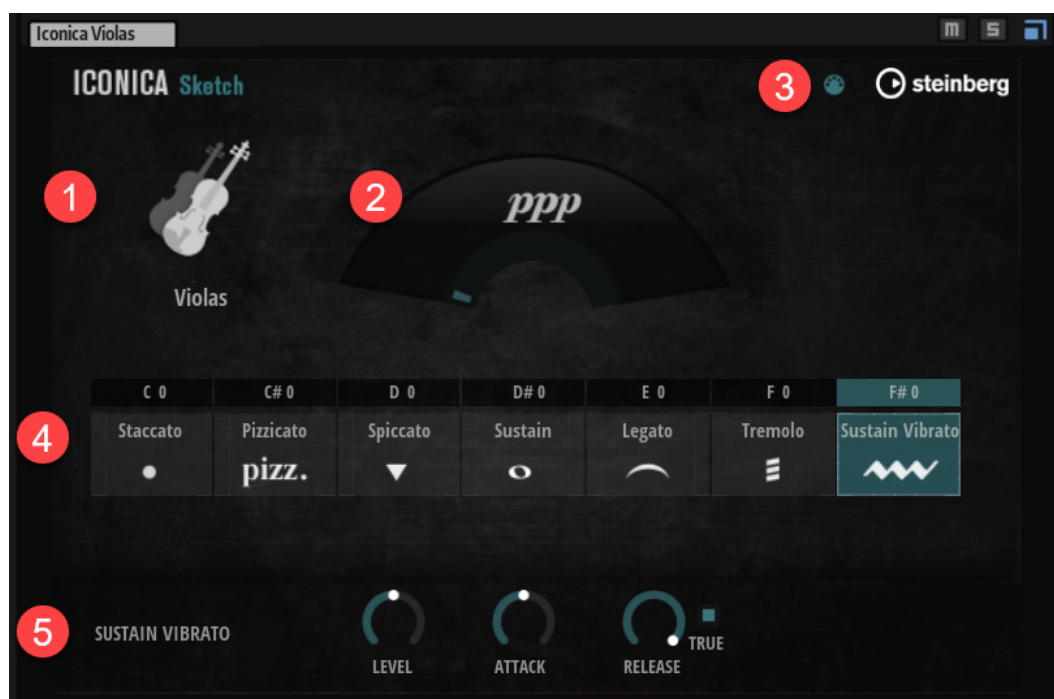
Iconica のオリジナル音源を厳選し、リマスタリングすることで、バランスのとれた高品質なオーケストラ体験を実現します。一方で、ファイルサイズと CPU パフォーマンスは非常に軽量です。

Iconica Sketch でオーケストラのアイデアに命を吹き込みましょう。

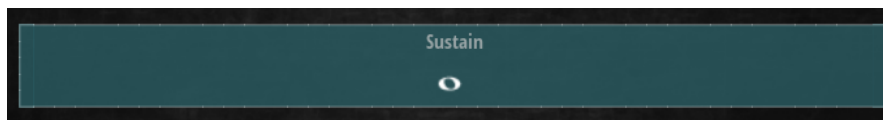
## ウィンドウについて

コンテンツはプログラムとレイヤーで構成され、関連する 2 つのマクロページは互いにわずかに異なります。

レイヤーの場合、マクロページには 1 つのインストゥルメントの 1 つのアーティキュレーションと、そのアーティキュレーションのパラメーターがあります。プログラムのマクロページには、使用できるアーティキュレーションを切り替えるためのボタンが並んでいます。



- 1 左上には、インストゥルメントのアイコンと名前が表示されます。
- 2 ダイナミクスディスプレイには、現在演奏中のダイナミクスが視覚的に表示されます。
- 3 プログラムの場合は、「MIDI Follow」を有効にできます。これにより、コントロールパネルはキースイッチや MIDI コントローラーメッセージなど、MIDI 経由でトリガーされたアーティキュレーションの変化に追従するようになります。
- 4 プログラムの場合は、並んだボタンでアーティキュレーションを選択できます。レイヤーの場合は、レイヤーのアーティキュレーションがパネルの中央に表示されます。



- 5 パネルの下部にあるパラメーターセクションで、選択したアーティキュレーションの設定を行なえます。

## パラメーター

パネルの下部にあるパラメーターセクションで、アーティキュレーションのパラメーターを設定できます。使用できるパラメーターの範囲はアーティキュレーションのタイプによって異なります。

### Adaptive True Legato

Iconica Sketch は、記録されたレガート遷移を使用して、リアルな一連のメロディーを再生する **Adaptive True Legato** システムを採用しています。レガートは再生速度に対応します。テンポの遅いメロディーでは、レガート遷移全体が再生されます。速いテンポで再生すると、遷移が短縮され、タイトで素早い再生スタイルになります。**Adaptive True Legato** は、一連のメロディーをスムーズに再生しつつ、ノートの境界を維持することに特化したシステムです。ポルタメントやノート間の類似するスライドは適用されません。

### キースイッチ

プログラムでは、すべてのアーティキュレーションボタンがキースイッチに割り当てられています。別のキースイッチを選択するには、ノート名をダブルクリックして新しい値を入力するか、ノート名をクリックして上下にドラッグします。1つのアーティキュレーションボタンは1つのキースイッチにか割り当てられませんが、1つのキースイッチを複数のアーティキュレーションボタンに割り当ててアーティキュレーションを重ねることができます。キースイッチを押すと対応するアーティキュレーションが有効になり、そのアーティキュレーションボタンが点灯します。

### アーティキュレーションパラメーター

パネルの下部にあるパラメーターセクションには、選択したアーティキュレーションのパラメーターが表示されます。使用できるパラメーターは個々のアーティキュレーションによって異なります。

#### 補足

選択中のアーティキュレーションが現在演奏中のアーティキュレーションとは限りません。選択中のアーティキュレーションには、白い枠線が表示されます。演奏中のアーティキュレーションはアーティキュレーションボタンの色が変わります。

---



### Level

アーティキュレーションのボリュームを設定します。初期設定では、アーティキュレーションはあらかじめバランスがとれています。

### Attack

アタックのデュレーションを設定します。低い値に設定するとサンプルの開始が遅くなり、アタックが生じてタイトな演奏スタイルになります。

#### 補足

- レガートアーティキュレーションの場合、「Attack」パラメーターはシーケンス内の最初のノートのアタックにのみ影響し、後続のすべてのノートは影響を受けません。
- 打楽器では、アタックを長くすることはできますが、短くすることはできません。

### Release

リリースの長さを設定します。

「True Release」がオンになっている場合、リリースサンプルが影響を受けます。「True Release」がオフになっている場合、または専用のリリースサンプルを利用できない場合、「Release」はサンプルのフェードアウト時間をコントロールします。

### True Release

トゥルーリリースサンプルを使用するための設定を行いません。

レガートアーティキュレーションの場合、以下のオプションを使用できます。

- **Legato+Release:** 単一のノートにも、レガートシーケンス内のノートにもトゥルーリリースサンプルが常に再生されます。
- **Legato:** 一連のレガートノートが演奏される場合のみ、トゥルーリリースサンプルが再生されます。レガートシーケンスの最後のノートのリリースは自由に調節できます。
- **Off:** トゥルーリリースサンプルがオフになります。

トゥルーリリース機能をサポートしているその他のアーティキュレーションには、トゥルーリリースサンプルを使用するかどうかを切り替えられるチェックボックスがあります。

#### 補足

「**True Release**」がオンになっている場合は、本来のリリーステイルがリリースタイムの上限になるため、リリーステイルを短くすることしかできません。

---

#### Stop Key

**Glockenspiel**、**Harp**、**Timpani**、**Tubular Bells**の各インストゥルメントには「**Stop Key**」パラメーターがあります。

通常、これらの楽器は長時間響きます。割り当てられた「**Stop Key**」を押すと、鳴っているすべてのノートのを再生を減衰し、あまり唐突にならないようにすばやく終了させることができます。「**Stop Key**」を押さなければ、そのインストゥルメントのサウンドは自然に減衰します。